

## 参加者の感想

### 小池田 冬乃

台湾を訪問して、日本と台湾の文化の違いを感じましたが、特に私が日本人と台湾人で違うというのを感じたのは、おじいちゃん、おばあちゃんたちがとても元気だということや、車やバイクを運転している人は歩いている人とすれすれで運転すること、そして、日本語や英語がペラペラということです。

日本でもすごく元気なおじいちゃんたちはいますが少ないと思います。ホテルの近くにある和平公園というところは自然がとても豊かで足つぼの道や健康器具などがあり、体を動かすことができ、すごく楽しかったです。運転は日本の交通ルールが厳しいのでそんなに危なくないと思いますが、台湾の信号機は赤信号のときにカウントダウンが付いていて分かりやすいと思いました。あと、日本では英語をしゃべれる人は多いと思いますが、台湾語をしゃべれる人は少ないと思います。

なので、私はおばあちゃんになっても元気でいられるように今から体を動かしておくのと、車やバイクを運転することになったら安全に運転していくのと、できるだけ色々な言語を話せるようにしたいと思います。

### 北村 樹

私は初めての海外だったので、始めは少し緊張したけど、楽しかったです。

台湾の街並みはすごい良かったです！古い感じや電光掲示板など、一歩別の道を行くと違う世界を体験できました。

国際線の空港では、荷物検査や入国審査などいろいろな手続きがあることを学ぶことが出来て良かったです。

訪問で特に印象に残っているところは、1つ目が夜市です。ビン立てなど日本にないゲームやいろいろなお店がたくさんあって、それぞれのお店から客引きの声がとてもビックリしました。2つ目は九份です。「千と千尋の神隠し」の世界に入り込んだみたいで面白かったです。3つ目は食事です。本場の小籠包を食べてみて、思ったよりは熱くありませんでしたが、肉汁の量がすごくてびっくりしました。とてもおいしかったです。

台湾のお年寄りの人やお店の人はとても元気で親切でした。私も日本人として親切な対応をできるようにしたいと思います。

台湾はホームレスの人が多く貧富の差が大きいなと思いました。

台湾のお金の払い方や「おいしい」「ありがとう」という言葉、文化やものの違いなど、今までにはない経験をすることが出来てすごく良かったです。

## 森 庸周

今回の訪問で、事前に調べていたり、知っていたことなどがたくさん体験できて嬉しかったです。士林観光夜市では、テレビで見たことがあった、ビン立てのゲームを体験することができました。「千と千尋の神隠し」の場面に似ていると聞いていた九份に行き、見ることができました。前から行ってみたかった台北101に登ることもできました。

台湾訪問をして思ったことは、たくさんあります。1つ目は台北の人たちには日本語が通じる人がいたということです。2つ目は、バイク。バイクに乗っている人がとても多かったです。3つ目は、台湾の面積は日本より小さいですが、道路の車線が4つ、6つありとても大きかったです。4つ目は、多くの人たちがタバコを吸っていることが印象に残りました。

今回の訪問で他の国に行くと、いろいろなことが発見できると思いました。これから、いろいろな所を訪問したいと思います。

来年のスピーチコンテストもたぶん出場すると思います。

## 望月 國男（中学生英語スピーチコンテスト副実行委員長）

3月25日から27日まで、第7回中学生英語スピーチコンテストで入賞した上位3名を連れて台北を視察した。3名の生徒はどん欲になって、見たり、聞いたり、食べたり、五感を思う存分使って、異文化体験を楽しんでいた。きっと、この貴重な体験は、以前よりも外国の文化・習慣に興味・関心を持つことができる機会となったと思う。ただ残念なのは、今回は現地の人との触れ合う機会がなく、国際交流にとって、一番重要な心の交流の大切さを学ぶことができなかつたことである。

しかし、短期間の滞在ではあったが、感受性が豊かでアイデンティティが育つ10代の世代が、これからの彼らの生き方やグローバルなものの見方・考え方を育てる貴重な機会となるとともに、多文化共生社会の中で共存していくことの重要性に気づききっかけとなったことと思う。

私は、台湾ははじめての訪問であった。市内を縦横に走るMRT(地下鉄)など公共交通機関が発達し、車内は清潔で、乗客のマナーもよく快適だった。バイクの多さには驚き、一人当たりのバイク台数は世界一だという。治安はよく、夜市など夜型文化を現地の人や観光客は楽しんでいた。高層ビルの横に懐かしさを感じる昔ながらの夜がある台湾の夜の風景に郷愁さえ感じた。世界一を誇る中国美術工芸コレクションがある故宮博物院では十分な時間がなく、ゆっくり鑑賞できなかったが、今回の楽しみにしておこう。

「近くて遠い国」という言葉があるが、日本にとって台湾は「近くて近い国」かもしれない。そんな感想をもって帰ってきた。